



夏季イベントへのご来場ありがとうございました！

NUMOは、多くの皆さまに地層処分について関心を持っていただけるよう、今年の夏も全国各地で様々なイベントに出展しました。



サイエンスデイ2022 @宮城 (7/17)



科学の祭典 @東京 (7/30, 7/31)



科学の祭典 @宮崎 (8/6, 8/7)

イベントでは、地層処分展示車「ジオ・ラボ号」やパネル展示のほか、ベントナイトを使ったふしぎな実験などをお楽しみいただきました。



ベントナイト実験



ジオ・ラボ号

今後のイベント出展の
予定はNUMOホーム
ページのトピックスを
ご覧ください！



トピックスは
こちら

<https://www.numo.or.jp/topics/2022/>

令和3年度版原子力白書の公表について

2022年7月28日に「令和3年度版原子力白書」が公表されました。高レベル放射性廃棄物の処分については、将来世代に負担を先送りしないよう現世代の責任で着実に実施していくことが示されました。NUMOは、この内容をふまえて、全国のみならず、引き続き努力を続けてまいります。



原子力白書とは？

我が国の原子力利用に関する現状及び取組の全体像について、国民に対する説明責任を果たしていくために毎年発行されているものです。



「令和3年度版原子力白書」
はこちら

<http://www.aec.go.jp/jicst/NC/about/hakusho/hakusho2022/index.pdf01.htm>

北海道2町村における地域との交流

文献調査を実施している北海道の寿都町・神恵内村では、現地のNUMO職員が地域の一人として交通安全や清掃などの行事に積極的に参加しています。



神恵内村 交通安全活動



寿都町 海岸クリーン大作戦



寿都町 花いっぱい運動

「高レベル放射性廃棄物の地層処分」を論題とした ディベート授業を支援しています

千葉大学では、教育学部・藤川大祐教授が担当する「ディベート教育論」において2012年度から、高レベル放射性廃棄物の地層処分を論題として取り上げた授業を展開しています。今年度は4月から7月にわたり、全15回の授業を実施しました。NUMOは地層処分関連施設の見学や、地層処分の講義等で本授業を支援しています。

【論題】

日本は高レベル放射性廃棄物の地層処分計画を撤廃し、地上での管理を義務付けるべきである。是か否か。

学生からの感想



長い時間をかけて地層処分を行うことから次世代層への理解も必要だと思った。そのため、将来教員になった際にこの問題を教えたい。



授業風景

ディベートとは？

何らかの論点・課題について対立する複数の発言者によって議論がなされ、議論の勝敗は議論を聞いていた第三者の投票によって判定されます。

積極的な対話活動に取り組んでいます！

対話型全国説明会
とは？



経済産業省資源エネルギー庁との共催で、地層処分事業に関する参加者の疑問などに丁寧にお答えし、事業への理解促進を図る目的で開催している説明会です。

詳細はこちら

<https://www.numo.or.jp/setsumeikai/>

